

●しゃらくかい

写・楽・同・会

令和2年7月31日 55

<https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>

投稿/投票宛先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2020 Sharakukai

文月兼題「百合の花」 出題：iSAMU

写真俳句



1 夏の朝 カサブランカの白眩し

雨戸をあけると庭先に咲いた白ユリが、朝日を受けて輝いていました。



2 登山道孤高に咲く百合一輪



3 ひとかかえ蕾ばかりのゆりを買う



カサブランカ
逢瀬の無きも薄化粧

4 カサブランカ逢瀬の無きも薄化粧

百合の中でも、この色はなんとも言えない色気を感じます。人はマスクで化粧省いているのに、君はきれいに化粧しています。



散歩道浜百合咲けり小さきしべ

5 散歩道浜百合咲けり小さきしべ

道端に咲く百合が可憐に見えました。



山百合を活けて花粉の一張羅

6 山百合を活けて花粉の一張羅

山百合の花粉は真っ赤で白い服には要注意。



7 ささやきに耳そばだてる百合の花

ちっぽけな悩み事もその大きな耳(?)で聞いてくれそうな気がする。



8 今頃はささ百合の花きっと咲き

東京に来る迄百合の花はこの「笹百合」と思っていました。この百合は関西以南に自生し、関東以北には無いことを知りました。この時期、この上品で気品に満ちた花が咲くのがとっても楽しみでした。Lillium japonicumとして日本の百合の代表として知られています。生まれ故郷は中国山地の限界集落となって、生家は無人となっていますが恐らく写真のようなささ百合が咲いている様を想っています。なお本来は「笹百合」が正しいのですが、笹のイメージが悪すぎるので作品では「ささ百合」としました。漢字一つで自分の受ける感じが違うのでは、と思った訳です。一般にはササユリなどとカタカナで書く

人もいますが、この日本由来のこの花をカタカナなどで書く必要はありません！1820年頃に日本に来たシーボルトによって日本の百合が西欧に紹介され、ロンドンではその球根が高値で取引されたとの記録があるそうです。日本特産の笹百合は種子でも増やす事が出来ませんが、栽培はなかなか難しいそうです。「万葉集」に、「筑波嶺のさ百合の花の夜床にも 愛しけ妹そ昼も愛しげ」と歌われているのは多分「笹百合」だと勝手に思っています。

俳句



撮影：iSAMU

1 百合揺れて香り聖花の誇りかな

百合は聖花だと聞いた事があります。

2 鹿の子百合 咲きて狭庭も華やげり

3 大輪を掲げて百合の崩れざる

びっくりするほど大きな花が咲きましたが、それに比して支える茎がいかにも細く驚きました。

4 LPのジャズ 二週目の百合の花

楚々とした百合ではく、ネトっとまとわりつくような百合の感じが出せないかと試行錯誤しました。

5 白百合を供えて母の顔やさし

園芸が大好きだった母。遺影の表情もうれしそう。

6 袖口に葬送の日の百合花粉

礼服を片付けていると袖口に花粉が付いていました。

7 魔王コロナ都民千万闘え百合（子）

8 雨募りうなだれ耐うるすかし百合

激しくなる雨に必死に耐えている咲いたばかりのすかし百合。

短歌

準坊

バラバラになりて散り落つ百合の花

お疲れ様と風の囁く

優雅に咲いていた百合もいつの間にか散り寂しさあり。



北切雀

満ちあふる香に押され開くゆり萌黄（もえぎ）のつぼみ紅（くれない）となり

百合は開く時の香が一番強いと感じます。白だと思っていたら濃いピンクの花が咲きました。

川柳

準坊

責任を痛感してもゴメンだけ

任命責任や不祥事の責任をどうとるの？

写真投稿

ダブルレインボー 千泉

イギリスの夏は午後9時でもまだ明るいのですが、この時間にこんなにはっきりした虹を見たのは初めてです。



草花3点 iSAMU



・栗の花



・アガパンサス



・枯れ酸葉（又は枯れ酸模）

令和2年6月「郵便」(出題:北切雀)の作品と投票結果

<< >>は作者コメント、*は読者コメントです。

- * 写楽句会を拝読していますと気持ちが豊かになります。凄いエネルギーを感じ、感化され、脳に刺激を受けています。(読者 KHさん)
- * 投票理由を何故ってうまく説明できないけれど、今回もいくつか発見があり勉強になりました。(読者 HSさん)
- * このコロナの時代で影響を受けている「郵便」の兼題。なんだか良い作品がたくさん揃った号。(読者 SNさん)

写真俳句 投票数: 31

一席



絵手紙の仕上げの四葩 藍を入れ 準坊 (8票)

<< 絵手紙風に作ってみました。

季語「四葩」(よひら)は紫陽花の異名。>>

- * すてきな絵手紙! ちぎり絵の趣がありますが、確かに藍がサシ色。文字の色も七変化と細部にこだわった作品。
- * 「四葩」難しい言葉を教えていただきました。
- * 素敵な絵手紙ですね。
- * こちらも写真との相乗効果が素晴らしいです。
- * 兼題を柔軟に捉えた遊び心は、写楽句会ならではのアイデア賞。絵も上手ですね。藍色の濃淡調子が絵の完成度のポイントとわかる句。
- * 仕上げに藍色を入れる所が何とも言えない。絵も上手く書けたと思います。
- * 絵お上手ですね。こんな葉書届いたらいいな〜。

佳作 (令和2年6月号掲載順)



切手貼り君届けたし初夏の風 池福楼

<< 独り占めするには贅沢すぎる、高原の風の心地よさ。>>

- * 発想は良いのに中七が少し残念ですね。
- * 風に切手を? なんと素敵な発想ですね。中七がちょっと引っかかるのですが、言い換えが思いつかない。
- * 清々しい風景ですね。ただ、切手の写真はなくてもよいのでは。
- * 写真との相乗効果ですばらしい!
- * とても面白い発想!!! 旅行が難しいコロナ渦の中特別にうれしい郵便です。
- * 心が洗われるような、清々しい句です。



グラナダは黄色いポスト五月晴れ iSAMU

<< 12年も前にグラナダにアルハンブラ宮殿を訪ねた時、この黄色いポストがあったのを、今回の兼題で思い出した。Netで探してみると世界には赤の他、黄、青、緑などのポストがある事が判った。日本にも黄色いポストが数か所あるらしい。

「五月晴れ」は仲夏の季語。>>

- * 投函したらラッキーなことがありそう!!
- * 何とも異国情緒のあるポストですね。

- * 南欧スペインの旅情を掻き立てる画像。ポストのロゴが面白い。郵便業の創業者タツソ伯爵家からの由来とか。
- * 私もスペイン、キプロスで黄色いポストに出会って地中海の太陽のような印象が受けましたが、アイスランドもポストは黄色でした。イギリスは赤が主流ですが金、黒、白、グリーンを見えています。

夏来たるコロナ踏み付け郵便婦 北切雀

<< コロナ休業中のレストランの前を、郵便屋さんが颯爽と行く。
女性なので「郵便夫」を「婦」に変えました。テレワークができない仕事ご苦労様です。>>

- * 夏になってもまだ世界を脅かす新型コロナウイルスに、負けじとばかりに郵便配達してくれる姿が逞しくなんだか勇気もらえます。閉まっているお店との対比も印象的です。
- * 「踏み付け」の表現が面白い。憎きコロナに負けてられない逞しく働く女性の気概を感じる。

* ストレートな感じもあるけど、最後は「婦」でちょっぴり意外性もある。そして夏来たるって堂々とした季語（かな？）に踏み潰している動詞が強調しているのも良し。最後に、写真とのバランスが良い（郵便局の制服と同じフォント色を選んだのが特に良かったかな）。

編集注：「夏来たる」/「夏来る」は夏の到来を喜ぶ、生命力あふれる季語です。



黒南風や遺品の切手届きけり 久芽

<< 親戚の叔母が亡くなり40年間郵便局に勤務、遺品の切手が届きました。>>

- * 梅雨を知らせる風が思い出も連れて来る。
- * 昔切手収集をしていたので、何だか身につつまされました。
- * 梅雨の湿った空気、淀んだ空の色を一時忘れるよろこび。届いた郵便物に故人との思い出に浸る。



登りきて汗ぬぐいしやポストマン 千泉

<< 歩いて配る郵便屋さんに感謝。>>

- * 珍しいですね、徒歩で配達するポストマン。ご苦労様。
- * 寡黙に職務を遂行するポストマンには感謝しかありません。後ろ姿にはお疲れの様子が。
- * 暑さに慣れていないイギリスで、これだけ濃い影が出来る暑さ。ご苦労様。



南風（はえ）にのり遠い道ゆくポストマン 梵木

- * 今年はマスクや申請書を配ったり。ポストマンの哀愁を感じます。
- * 日差しが強いのでしょうか、暗闇からさっと出たような郵便屋さんの姿。緊張感があります。
- * 蒸し暑い梅雨も、便りを待っている人々のために今日もカブに乗っていくライダーマン。

夏来たる 人待ち顔のポストかな 昼寝覚



<< 合掌造りの土産物屋もポストも観光客を
待ちわびているようでした。>>

- * このポストのデザインは大好き。古民家の佇まいにピッタリ。旅先から絵葉書を出す人が少なくなった時勢にコロナが追い打ち。
- * 5月号4と同じ季語を使った写俳だけど、ポストの写真写りが良いというか、モノには顔があることを写真でキャッチでき、それを俳句化できているのが良い。今風のコロナ感もしっかり出ている。
- * 観光地には懐かしいポストが残っているんですね。

- * コロナ禍には直接触れずに、切なさを如実に表現しているところが見事。
- * レトロなポストと合掌造りのコンビニは時が止まったかのよう。早く安心の暮らしと客が戻って欲しい。
- * コロナのせいで出掛けたい人と待っている観光地が分断されている。国のGo Toトラベル 観光支援策 上手くいくでしょうか？

俳句 投票数：29

熊野本宮大社 緑の八咫鳥のポスト

撮影：準坊

- * ポストが黒で鳥が緑の楽しい逆転。郵便ポストを見るのが大好きなので眼福でした。
- * 黒と緑で、周りの木影になじんでいながらも、つやがあって大切にされている感じがする。



一席

巢籠もりに佳き事も知る夏だより 池福楼 (6 票)

<< 暑中見舞いに出産の報告が… >>

- * コロナ禍の中、明るい話題には笑みが出ますね。
- * コロナ禍の中の無事出産はなにより。
- * お友達からののがきでしょうか、電話やメールより嬉しさが伝わってきますね。
- * 長い間会わなくても、便りはいいですね。
- * おめでたい話は他人事ながらホッとします。でもコロナ禍の子育て気を使う事も多いでしょうね。

椿植えし祖父へ送らむ花便り 昼寝覚 (6 票)

<< 40年も昔祖父が植えた椿が今年は大輪の花をつけました。>>

- * しみじみと心に響く花だよりです。
- * 時空を越えてあたたかい真心が行き交う素敵な一句ですね。
- * 美しい椿の開花を伝える…こんな心の花便りはきっと届いていることでしょうね。
- * 40年前に植えた椿見事でしょうね。
- * 花便りとは素敵な表現ですね。

佳作（令和2年6月号掲載順）

暑のこもる郵便袋上り坂 千泉

<< 坂の多いところは配るのが大変。>>

- * バッグの中には郵便物より重い「暑さ」。お疲れ様です、ありがとう！
- * 一言も書いてないのに、ポストマンの姿が描かれていて、暑い日に重い郵便袋背負って坂を上る姿が見える。

バイク音 夏さわやかに ポストマン 梵木

- * 私信がすっかり少なくなった昨今ですが、手紙もいいものです。
- * バイクが颯爽と街中を駆け抜けていく姿が、目に浮かびます。
- * いつも聞きなれた郵便屋さんのバイク音もさわやかに聞こえるのは季節のせいでしょうか。始めと終わりがカタカナでリズムも軽やか。
- * 暑い中郵便物を届けてくれるポストマンに感謝です。

雨あがり郵便局の薔薇わらひ 北切雀

<< 村の郵便局の入口で咲いている薔薇です。>>

- * 雨上がりのお花の様子はベタだけど、郵便局の薔薇という光景が浮かんで、シンプルに楽しめる句。

読み返す友の便りや五月闇 準坊

<< 梅雨が明けたら会いに行こう。>>

- * 季語から察するとなにか心配な便りでしょう、心配ですね。
- * 友を想う気持ちと季語の取り合わせが秀逸。
- * 降り続く雨と鬱陶しい暗い空。こんな気分を救ってくれる嬉しい友の便り。
- * 友達の手紙には何が書かれていたのでしょうか？。

来信や難病告げる梅雨曇り 久芽

<< 友人より難病との連絡がありました。初めて聞く病名でした。>>

- * 暗い知らせには気が滅入りますね。
- * 医学の進歩を信じたいですね。
- * 梅雨曇りと自分の心に曇りをもたらす便り。実感がこもってます。お友達が無事に快方にむかいますよう。
- * 梅雨曇りで難病の重さを感じました。
- * 暗い思いを梅雨曇りが決めてますね。

短歌

久芽 素っぴんをマスクで隠し花柄やレースも有りのニューファッション

- * ヒジャブ（イスラム女性のスカーフ）も様々。いくつになっても忘れたくないおしゃれ心。
- * 女性がマスクで口元を隠すと皆さんホントに美人に見えます。
- * 顔の半分が隠れるマスクでスッピンok。都知事のマスクも 服とあわせていたりなかなかオシャレですね。お化粧はバッチリですが…

準坊 夢に見し友気になりてダイアルす 元気？ 元気！ にひと安堵して

<< ご無沙汰の友人の夢を見てコロナ禍もあり声が聞きたくなりました。>>

- * 音沙汰の無い知人の夢を見るのは、相手も連絡を取りたい証だと思います。

北切雀

母の文「今日の献立」書き連ね結びはいつも「健康第一」

<< 筆まめな母でした。>>

* 筆まめな母、筆不精な子。母は子供がいくつになっても心配なのでしょう。

川柳

準坊

トランプの口を塞げよアベマスク

<< 盟友のトランプの口を封じる大きめのアベノマスクを送ってやって。>>

* トランプも最近マスクをしている。権威付けの大統領マークの刺繍入りなのが笑える。

北切雀

古希過ぎて占いスルーの週刊誌

<< 週刊誌の星占いは恋愛と仕事のこと。卒業しました。もう何座でも未来は同じ。>>

* 星占いはおろか芸能人のゴシップ記事も誰が誰やらさっぱり分からない。

- * 令和2年葉月8月は昼寝覚さんから「雲」、長月9月は一枝さんから「落書き」と出ています。
- * 令和2年文月7月号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
- * 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら「写真いいね!」として投票下さい。
- * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。短歌、川柳も大歓迎です。
- * 令和2年7月号への投票、8月号作品への投稿の締め切りはともに8月20日です。
- * 随想、珍事報告など書き込みの他、読者さんからの写真や句の投稿、兼題提案もお待ちしています。

「写楽句会」(五十音順)

池福楼、iSAMU、一枝、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木

筆責：北切雀 校正：準坊、池福楼

写楽句会 連絡先：kinuko_thompson@hotmail.com

© 2020 Sharakukai

写楽句会 : <https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>四季の森空間 : <https://isamusouma.web.fc2.com/>